

ドイツ・サッカー

短期留学

8月4日(火)~9月2日(水)

内容：

- ・ 練習参加
- ・ ドイツ語学習
- ・ 空港送迎
- ・ ブンデスリーガ観戦
- ・ 特別練習
- ・ 観光

場所：Nentershausen

宿泊：シェアハウス

語学学校：家庭教師



1 日目

今日から 1 カ月、ドイツでの生活が始まる。
1 日も早くシェアハウスの皆と仲良くなって、充実した日々をしたい。



2 日目

今日は朝から 3 時間ドイツ語の授業を受けた。
日本で少し勉強してきたが全然わからなかった。
この 1 カ月間で日常会話とサッカー用語くらいは
少し話せるようにしたいと思う。
午後はチームの練習に参加した。
荒くて、初めてソックスが破れた。
技術はそんなに高くないが
パワーとシュートはすごくうまかった。
練習後は皆仲良く、気さくに話しかけてくれて、
温かい人達ばかりだった。



3 日目

今日は 2 回目のドイツ語。
語源が英語に似ている事が分かった。
3 時間の授業は大変だが、
早く覚えられるようにしっかり受けようと思う。
午後は 1 部と 4 部のポカールを観に行った。
得点差は開いたが、4 部チームがかなり頑張っていて
熱い試合を見る事が出来た。
また、熱狂的なサポーターを間近で感じ
ドイツに来た感じがした。

4 日目

今日の夜は皆と BBQ をした。
いろんな思いを持って留学に来ている選手と
話す事で良い刺激を受ける事ができた。
みんなと少しうち解ける事も出来たし、
とても充実した時間になった。



5 日目

同い年の日本人がいる 6 部のチームの試合を観に行った。背は小さかったが運動量が豊富で上手だった。6 部なのに多くの人々が観に来ていて、日本では絶対に無い光景だと思った。試合を間近で観ると。やはり荒くて激しかったが日本の試合より勝利への執着心が強いように感じられた。

6 日目

今日は Montabaur の練習に参加した。綺麗なグラウンドとジム、
シャワールームなどが完備されており、
とても良い環境で
サッカーが出来た。
チームメイトも
優しくて練習しやすかった。



8 日目

留学生達と一緒に練習をした。
皆高い志を持ってドイツに来ていて上手かった。また、全国各地から来ているので、様々な方言や考えを持っていて楽しかった。このような出会いも良い経験だと思う。

11 日目

住んでいる街の Kirmes(移動式遊園地)に行った。小さな田舎町なのにものすごい人の数とドイツ人の勢いに終始圧倒されていた。

夜遅くまで子供からお年寄りまでが一緒になって騒いで踊ったりしていてとても楽しかったが、ちゃんと会話することが出来なかったので言葉の大切さを痛感した。



13 日目

今日は日曜日でドイツの日曜日はスーパーなどお店が閉まっている。

その為町全体がいつもより静かでのんびりした時間が流れている。

日本では考えられない事でとても不便だが異国の文化を感じる一つだと思う。



14 日目

今日は Dorndorf の練習に参加した。

このチームはドイツ人のフィジカルだけでなく

サッカーのレベルも高かった。

フィジカルもスピードも日本とは全然違う中で

プレーすることはとてもいい経験になる。

早くこの感覚に慣れて日本で活かせればと思う。

16 日目

小さいコートでゲームをすると
寄せが速いうえに球際の勢いが激しいので
ボールを持つと直ぐに足ごと削られる。
日本でもボールを受ける前に次のプレーを
イメージして速い判断でプレーするというが、
実際この環境でやる事で必然的に
意識しなければならない。
常にこういう激しさの中でやるからこそ
感じられる部分大きい。



17 日目

海外に来たら出来るだけ日本人と
話さない方がいいのかと思っていたが、
日本人と話す時間も大切だと思った。
いろんな思いを持ってこっちに来た人達と
話す事でいろんな考えを吸収する事が出来る。
積極的に周りとのコミュニケーションを
取る時間も大切にしたい。
それと同時に、もちろんドイツ語も早く上達して
ドイツ人とも積極的に
コミュニケーションを取りたい。



18 日目

ドイツ人はとにかく勝負事に
負けるのが嫌いで激しい。
日本ではボール回しなどポジション練習は、
技術練習などの意味合いもあると思うが、
こっちではそれも勝負事である。
ボールを奪われれば必死に奪い返しに行くし、
ボール回しでも平気で足元に削りにくる。
この日自分もソックスが破れるぐらい削られた。
この激しさは相手にとって脅威になるし、
普段からそれぐらいの激しさの中でやる事で
試合でも自然に球際とかの激しさが出るのだと思う。



19 日目

今日はブンデスリーグ 1 部のフランクフルトの試合を観に行った。乾選手の出場は無かったが、長谷部選手はサイドバックとして出場していた。試合自体はフランクフルトが終了間際に同点とし、引き分けで終わった。ドイツのトップリーグの試合を間近で観て、改めて自分との距離感を感じた。これを機にさらに練習に打ち込みたい。



22 日目

ドイツには小さな町にも町クラブがあり、その町の住人はそのチームを自分のチームのように応援する。これが生まれた時から自然のことにある事がブンデスリーグのあの観客動員に繋がっているのだと思う。ドイツに来てサポーターの力の凄さがものすごく伝わってくる。こういう人たちと一緒に闘っていきたいという感情が芽生えた。



23 日目

試合中に仲間とかみ合わなかった時にコミュニケーションが取れないのが凄く歯がゆい。チーム内に意思疎通できない選手がいて、やる事が統一されず団結できなくなる。話せる事の重要性を改めて痛感した。

日本に帰ったら試合中のコミュニケーションをもっと意識しようと思う。

25,26 日目

この 2 日間でパリに一人旅行をした。
エッフェル塔、凱旋門、ルーブル美術館、
ノートルダム大聖堂など有名どころを
全て行く事が出来た。初めての海外旅行で
いろんなアクシデントがあったが
終わってみれば全て良い思い出で、
初めの一步を踏み出すことで
新しい世界を見る事が出来ると感じた。



27 日目

ドルトムントの試合を観に行った。
まず、スタジアムに入った瞬間の
観客の多さに鳥肌が立った。
この日はなんと 8 万 500 人もの人が
詰め掛けていてほぼ満席状態だった。
香川は大活躍し、試合も 3 対 1 で勝利した。
やはり、同じ日本人が世界トップの舞台に
立っているのを見ると、すごく勇気をもらえる。
今日はとにかく圧倒された 1 日だった。



29 日目

明日はついに帰国なので
今日が練習参加できる最終日。
最後の練習は全然上手くいかなかった。
この留学で今の自分の立ち位置を確認することができた。
肝心なのはこの留学を通してどうするかだと思う。
これからしっかり考えて、将来この留学があったから、
と胸を張って言えるようにしたい。
本当にいろんなことがあったが、支えてくれた皆に感謝したい。